

試験問題

令和8年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻
博士前期課程 入学選考（2月期）

コース：建築コース 科目名 [建築環境]

令和8年2月21日（土）実施

システム工学研究科では、入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題は公開していません。

解答例

令和8年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻
博士前期課程 入学選考（2月期）

コース：建築コース 科目名 [建築環境]

令和8年2月21日（土）実施

システム工学研究科では、入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、解答または解答例を公開していません。

出題の意図

令和8年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻 博士前期課程 入学選考（2月期）

コース：建築コース 科目名 [建築環境]

令和8年2月21日（土）実施

建築環境に関する基礎的な知識の確認のため、以下のことについて問うている。

- 問1. 建築物には窓が欠かせない。窓から光を取り入れることは、省エネ策として必要不可欠なものであり、昼光率の定義を理解しておく必要がある。この問いでは、昼光率について理解し定義式を用いて説明できる能力を確認する。
- 問2. 建築物を介した熱の移動において、定常計算における熱貫流の知識は必要不可欠である。この問いでは、計算を行うための基本式の理解および問題を解く能力を確認する。
- 問3. 外界からの熱流入は温度差だけでなく日射の影響が含まれる。その際の熱収支について理解をしておく必要がある。この問いでは、相当外気温を用いた基本式の理解および問題を解く能力を確認する。